

賢い選択

全国の地域地球温暖化防止活動推進センター

活動集



目次

1	地域地球温暖化防止活動推進センターとは	p1
	COLUMN 「COOL CHOICE」国民運動の推進について.....	p1
2	数字で見る！地域地球温暖化防止活動推進センターの実績	p2
	(1) 地域センターの活動による発信数及び動員数.....	p2
	COLUMN 240万人の温室効果ガス削減効果.....	p2
	(2) 地域センターが取り組んだ事業・活動数.....	p3
	COLUMN 地域を巻き込む地域センターの活動.....	p3
	(3) 地域センターの活動と「COOL CHOICE」賛同獲得数.....	p4
	COLUMN あの手この手で「COOL CHOICE」普及拡大！.....	p4
	(4) 地域センターへの問合せ・相談件数.....	p5
	COLUMN 地域センターの相談窓口.....	p5
	(5) 地域センターが実施する活動のテーマ・手法.....	p6
	(6) 地域センターと推進員及び地域主体との連携.....	p7
	COLUMN 多岐にわたる推進員活動の現場！.....	p7
3	地域センターの特徴的な活動事例	p8
	COLUMN 地域での普及啓発活動を支援します！.....	p23
4	地域センター情報	p24
	(1) 地域センター指定数の推移.....	p24
	(2) 地域センター従事者数の推移.....	p24
	(3) 推進員委嘱数の推移.....	p24
	(4) 地域センター所在地一覧.....	p25

はじめに

国は、2016年12月のパリ協定採択を受けて、2017年5月に地球温暖化対策計画を策定し、温室効果ガスの排出量を2030年度に2013年度比26%削減、とりわけ業務・家庭部門は約40%の削減という極めて高い目標を掲げ、現在、国民一人一人が低炭素な行動・ライフスタイルを賢い選択として取り組む「COOL CHOICE」国民運動を積極的に進めています。

私たち地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化対策推進法に基づき、全国センター及び59か所の地域センターが一体となって、地球温暖化防止活動の普及啓発や調査研究に取り組んでいます。今般、昨年に引き続き地域センターの活動を、わかりやすくまた可能な限り定量的にまとめました。一人でも多くの方々に読んでいただき、私たちと一緒に「COOL CHOICE」国民運動の主役になっていただければ幸いです。

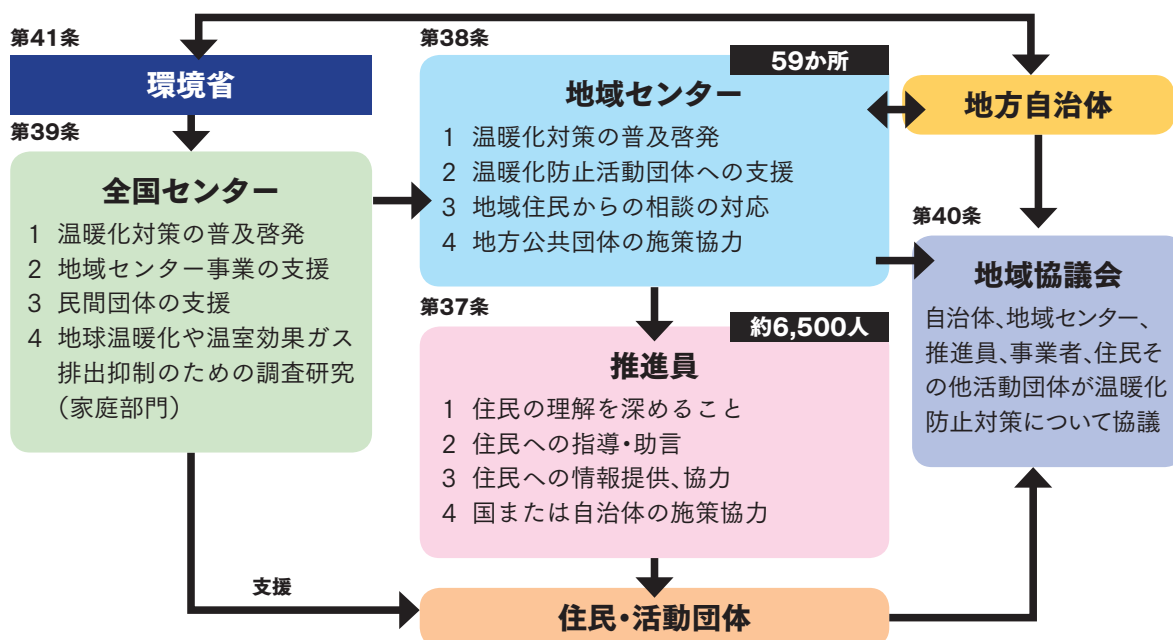
平成30年1月 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
(全国地球温暖化防止活動推進センター)

1 地域地球温暖化防止活動推進センターとは

地域地球温暖化防止活動推進センター（地域センター）は、地球温暖化対策推進法に基づき全国の都道府県、指定都市などの首長が指定して設置される、地域で地球温暖化防止活動に取り組む法的な根拠をもった唯一の拠点です。平成 29 年度に 1 センターが加わり、現在 59 の地域センターが指定されています。

地域センターは、全国地球温暖化防止活動推進センター（全国センター）や地球温暖化防止活動推進員（推進員）、地方自治体などと連携しながら、地球温暖化防止のためのさまざまな活動を行っています。

地球温暖化対策推進法による普及啓発体制



COLUMN

！「COOL CHOICE」国民運動の推進について

COP21 において採択されたパリ協定において、日本は 2030 年度までに 2013 年度比で温室効果ガスを 26%削減するという目標を掲げました。この目標を達成するために環境省は地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」を推進しています。この取組みは、省エネ・低炭素型の製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしようというものです。

環境省では、「COOL CHOICE」をより効果的に推進するために、「COOL BIZ」や「5つ星家電買換えキャンペーン」など、「低炭素社会実現に向けたアクション」を展開しています。

地域センターは、「COOL CHOICE」を地域から普及させていくための拠点として、活躍しています。



クールチョイス

検索



「低炭素社会実現に向けたアクション」の例

(1) 地域センターの活動による発信数及び動員数

(平成28年度58センターの活動実績)

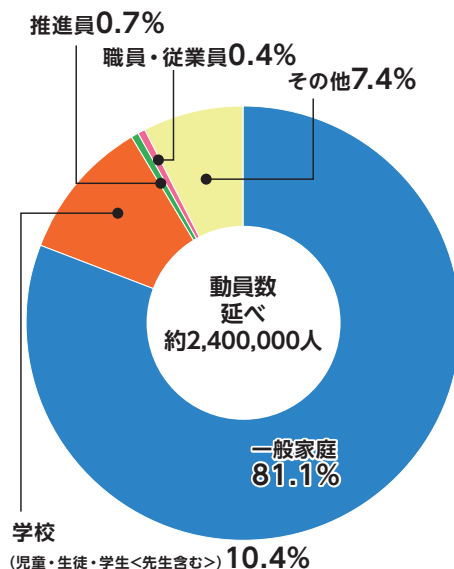
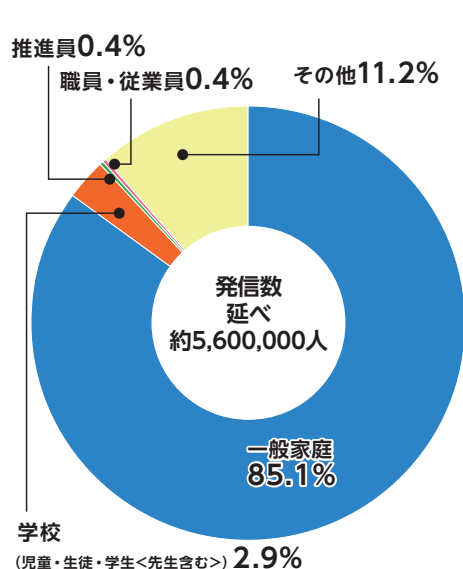
発信数

延べ約560万人

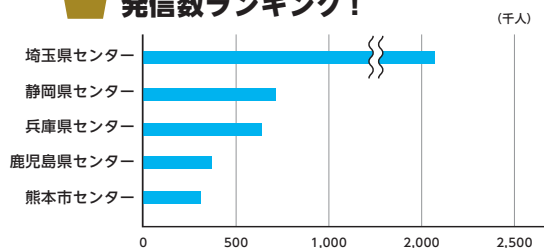
動員数

延べ約240万人

地域センターはさまざまな活動を通じて、多くの方々に地球温暖化防止に係る情報をお届けしています。一般家庭を対象にしたものが主ですが、子どもたちを対象にしたものや、民間企業や自治体等の職員・従業員向けの活動も実施しています。



👑 発信数ランキング！



👑 動員数ランキング！



COLUMN

! 240万人の温室効果ガス削減効果

普及啓発事業に係る1人当たりの年間みなしCO₂削減量を138kg-CO₂/年^{*}とすると、

約33万t-CO₂/年 の削減効果があります！

※平成28年度地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業委託業務において算出されたCO₂削減原単位

(2) 地域センターが取り組んだ事業・活動数

(平成28年度58センターの活動実績)

実施事業数

281事業

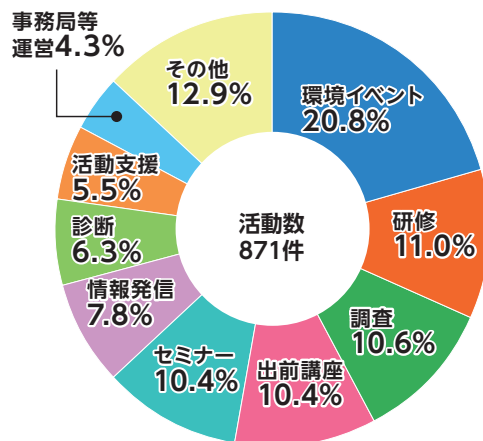
事業の中の活動数

871件

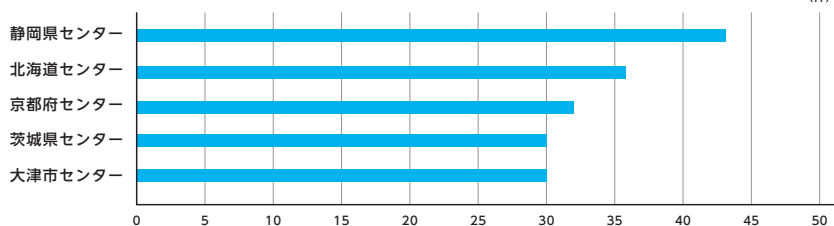
地域センターはさまざまな主体から事業の発注を受けて、地域での地球温暖化防止活動を実施しています。請け負った事業の中でも、環境イベントや担い手を育成する研修、地域の温室効果ガス排出実態等の調査など、さまざまな活動を行っています。地域センターでは、地域での温暖化防止活動に関するさまざまな知識やノウハウが集積されており、地域の課題や目標に合わせた地球温暖化防止活動の提案・実施等が可能です。

■ 発注元別事業数

発注元	事業数
国	92
都道府県	85
市区町村	37
民間企業	13
自主事業	39
その他	15
合計	281



👑 活動数ランキング！



COLUMN

！ 地域を巻き込む地域センターの活動

地域センターは地球温暖化防止活動を効果的に進めていくため、地域のネットワークを活かした普及啓発活動を実施しています。

栃木県センターでは、「COOL CHOICE とちぎ」と銘打ち、県内すべての市町（14市11町）が共同で宣言することで、国民運動に呼応して温室効果ガス排出量の削減目標達成のため、県民総ぐるみの行動につなげていく取り組みを実施しています。

詳しくは、「COOL CHOICE とちぎ」総合サイトをご覧ください。

<https://www.coolchoicetochigi.jp/index.html>



「COOL CHOICE とちぎ」のロゴマーク

(3) 地域センターの活動と「COOL CHOICE」賛同獲得数

(平成28年度58センターの活動実績)

COOL
CHOICE

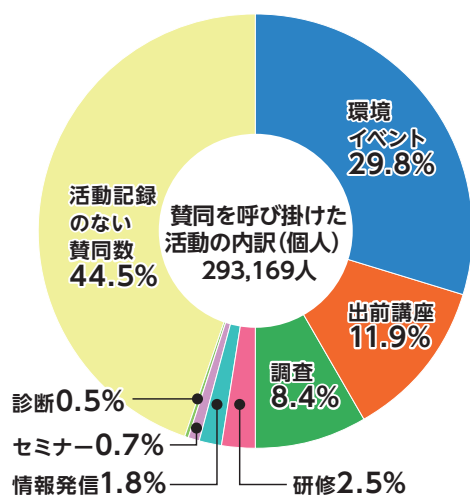
個人賛同数

約30万人

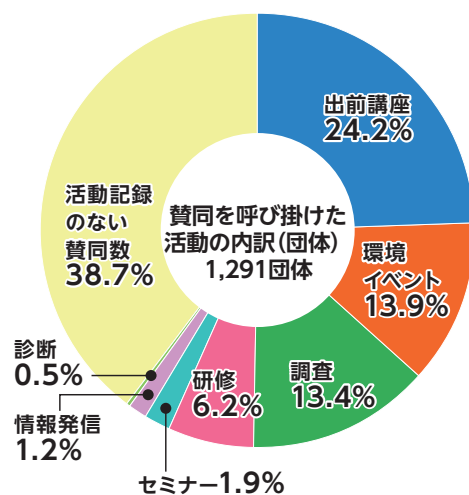
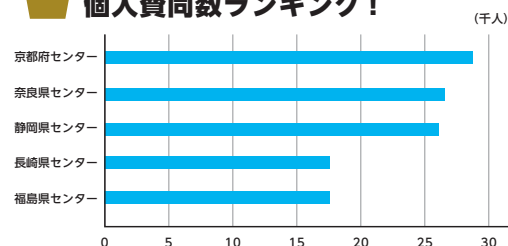
団体賛同数

約1,300団体

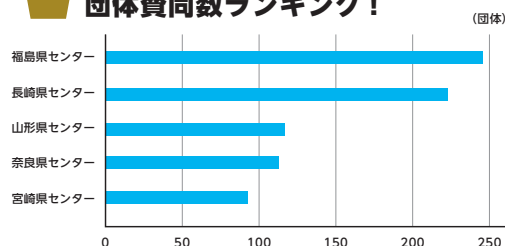
地域センターは、「COOL CHOICE」国民運動推進の担い手として、個人や団体の賛同者を集めています。ただ賛同を集めるだけでなく、「COOL CHOICE」を正しく理解していただくよう、普及啓発活動等の中で賛同を求めることで、CO₂排出削減につながる行動変容を促しています。



個人賛同数ランキング！



団体賛同数ランキング！



COLUMN

！ あの手この手で「COOL CHOICE」普及拡大！

地域センターは、「COOL CHOICE」を広く普及させていくため、さまざまな活動を実施しています。セミナー形式で、家庭で取り組める COOL CHOICE を普及啓発する活動や、環境イベントの中で実施するゲームを通じて身近な COOL CHOICE に関する気づきを与える活動、取組みを表彰する活動など、あらゆる手法を用いて COOL CHOICE の普及拡大を図っています。



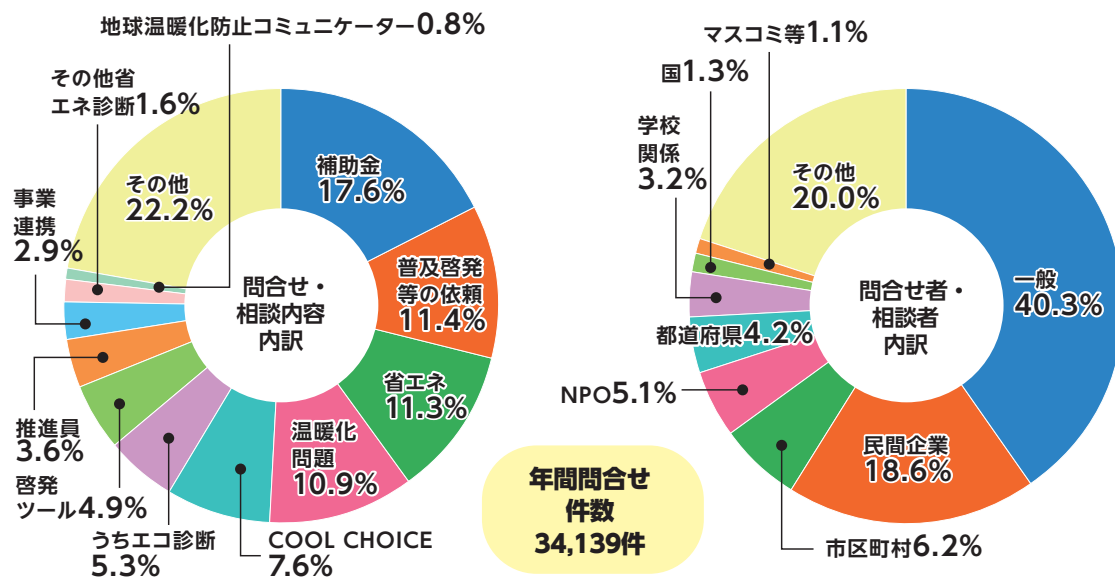
COOL CHOICE アイデアを表彰する活動(奈良県センター)

(4) 地域センターへの問合せ・相談件数

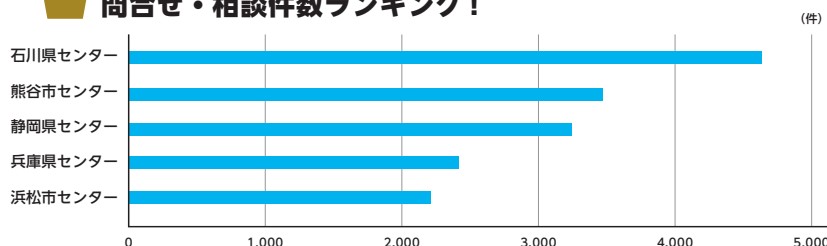
(平成28年度58センターの活動実績)

年間 **約34,000件**

地域センターは、温対法に基づいて、市民や企業などから温室効果ガス排出抑制のための相談や照会業務を担っています。家庭での効果的な省エネや、地域で実施する地球温暖化防止活動の支援、補助金の受付窓口など、地域のニーズや課題に柔軟に対応する拠点となっています。



問合せ・相談件数ランキング！



COLUMN

！ 地域センターの相談窓口

地域センターは、地域の環境イベントや出前講座の開催など、さまざまな場所で普及啓発活動を行っています。相談窓口や学習施設等を併設しているセンターもあります。地域センターは、地域での温暖化防止のあらゆる疑問に応える拠点を目指して、活動しています。



地域センターの相談窓口 (川崎市センター)

(5) 地域センターが実施する活動のテーマ・手法

(平成28年度58センターの活動実績)

テーマの設定数

8項目延べ

3,383件

手法の設定数

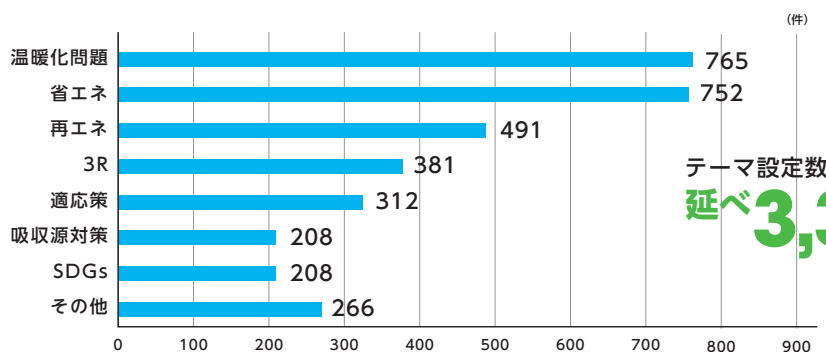
5種類延べ

1,864件

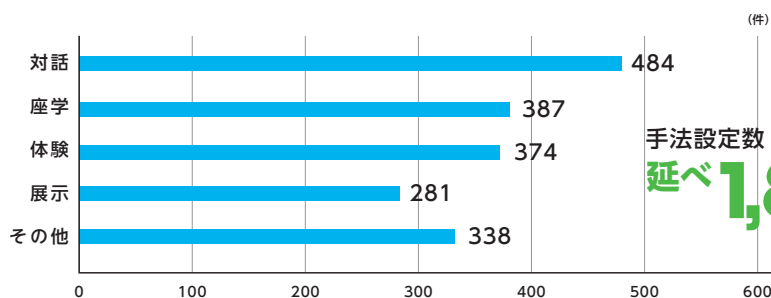
地域センターは、地球温暖化防止に係るさまざまな課題に合わせた普及啓発活動の実施が可能です。温暖化問題や省エネに関することなど、日々の生活に関することから、適応策や吸収源対策、SDGs※など、多様なテーマに対応しています。また、啓発対象に合わせて、対話・座学・体験・展示等の手法を選択することで、効果的な普及啓発活動を実施しています。

※SDGs=Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）

普及啓発
活動のテーマ
(複数選択)



普及啓発
活動の手法
(複数選択)



■ テーマの具体例

no.	テーマ	具体例
1	温暖化問題	温暖化のメカニズムやCO ₂ 排出実態、気候変動等に関すること
2	省エネ	節電手法の啓発や省エネ機器への買換え促進、省エネ診断等に関すること
3	再エネ	太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギーに関すること
4	3R	リユース、リデュース、リサイクルに関すること
5	適応策	気候変動への適応策に関すること
6	吸収源対策	森林保全や林業活性化等に関すること
7	SDGs	SDGsに関すること
8	その他	上記に当てはまらないもの

■ 手法の具体例

no.	項目	説明
1	対話	相談会、ワークショップなどお互いに意見を述べ合う討論形式によりお互いの考えを理解し、整理していく手法
2	座学	講座、セミナーなど聞くことが主となる手法
3	体験	エコドライブやエコクッキング、実験・工作など、座学のみではなく、実際に（模擬的に）体験して身に付けていく手法
4	展示	イベントなどでのパネル展示、ツール展示、映像展示など展示を主体とした広報および普及活動を行う手法
5	その他	インターネット等による情報発信や啓発ツールの制作など、上記に当てはまらないもの

(6) 地域センターと推進員及び地域主体との連携

(平成28年度58センターの活動実績)



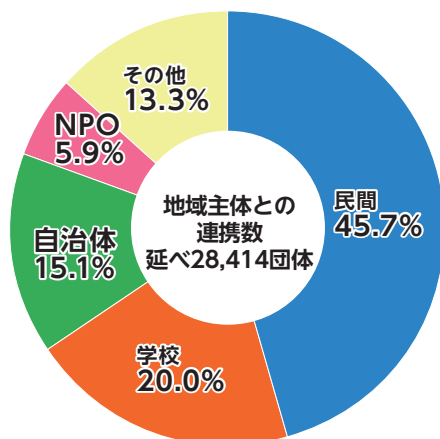
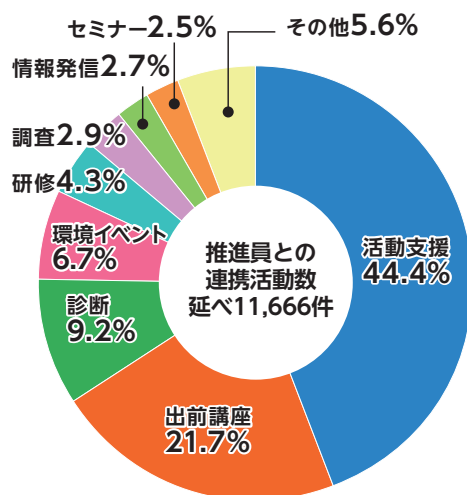
推進員との連携活動数

延べ約12,000件

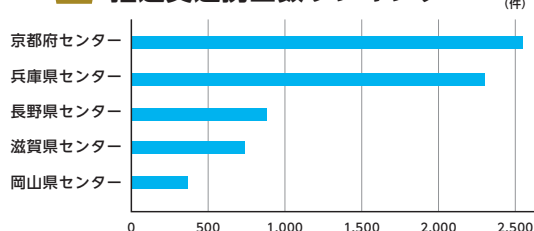
地域主体との連携数

延べ約28,500団体

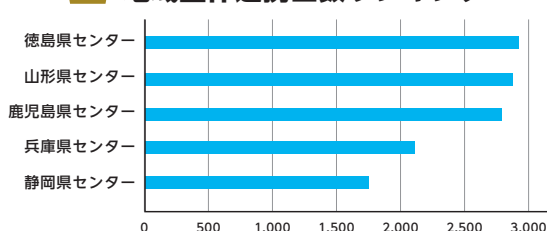
地域センターは、効果的かつ効率的に地球温暖化防止活動を実施するために、推進員や地域主体と連携しています。推進員は、都道府県市の首長によって委嘱され、地域での普及啓発活動を行う上で、重要な役割を担っており、平成29年7月現在、全国で6,586名となっています。



推進員連携回数ランキング！



地域主体連携回数ランキング！



COLUMN

多岐にわたる
推進員活動の現場！

推進員は地球温暖化対策のプロフェッショナルとして、地域での温暖化防止活動に携わっています。うちエコ診断など、1対1の普及啓発から、出前講座の講師、さらにはラジオ放送のようなマスコミによる普及啓発まで、豊富な知識と経験を活かした活動に取り組んでいます。



ラジオを通じた啓発活動



イベントでの啓発活動

3 地域センターの特徴的な活動事例

地域センターの多岐にわたる活動の一部をご紹介します。

1 センター 1 活動ずつご紹介していますが、地域センターでは各種テーマ、カテゴリ、対象向けの活動に対応可能です。事業連携や相談等、お近くの地域センターまでお問い合わせください。

■ 活動に関するアイコンについて

<活動のテーマ>

	省エネ	節電手法の啓発や省エネ機器への買換え促進、省エネ診断等に関する活動
	温暖化問題	温暖化のメカニズムや CO ₂ 排出実態、気候変動等に関する活動
	再エネ	太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギーに関する活動
	吸収源対策	森林保全や林業活性化等に関する活動
	適応策	気候変動への適応策に関する活動
	3R	3R に関する活動
	SDGs	SDGs に関する活動
	その他	その他のテーマに関する活動

<活動の対象>

	家庭	市民・家庭
	学校	児童・生徒・学生及び先生
	事業所	事業所・店舗やその従業員等
	担い手	推進員など地域の担い手
	その他	その他

■ 活動カテゴリ別目次 ※地域別に北から順

環境イベント 地域センターや地域主体が実施するイベントでの活動

福島県	環境教育・環境学習の推進	▶ p11
埼玉県	低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉	▶ p12
熊谷市	熊谷市みどりのカーテン補助金及び写真コンテスト	▶ p12
川口市	eco キャラバンおじゃま虫	▶ p12
千葉県	エコメッセへの出展	▶ p12
八王子市	「家庭の省エネ」なんでも相談	▶ p13
川崎市	環境啓発施設 C C かわさき交流コーナーの運営	▶ p13
新潟県	つばめエコキッズ探検隊プロジェクト「地球温暖化防止作戦」	▶ p14
石川県	いしかわ環境フェア	▶ p15
長野県	県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク	▶ p15
長野市	エコドライブ講座とシミュレーター体験	▶ p16
三重県	みえ環境フェアの開催	▶ p16
愛媛県	愛媛の 3 R 企業展 / えひめ eco フェスタ 2016	▶ p20
長崎市	ながさきエコライフの浸透と拡大	▶ p21
佐世保市	かえっこバザールの定期開催	▶ p22

出前講座・セミナー 地球温暖化防止に関する座学を中心とした活動

岩手県	廃食油の資源化活動を通じた三陸復興プロジェクト！	▶ p9
山形県	省エネ住宅の普及啓発活動	▶ p10
群馬県	クールチョイスぐんまフォーラム ～賢く選ぶ交通談義～	▶ p11
静岡県	アースキッズチャレンジ事業	▶ p14
浜松市	事業所のエコドライブ推進事業	▶ p14
富山県	とやま環境チャレンジ 10 事業	▶ p15
鳥取県	ちびっ子エコスタート事業	▶ p18
岡山県	協働による環境学習推進事業	▶ p19
徳島県	こども環境講座	▶ p20
福岡県	将来を支える次世代人材の育成	▶ p21
佐賀県	環境教室の実施	▶ p21
熊本市	幼児向け環境教育	▶ p22
大分県	事業所を対象 エコドライブ乗車体験セミナー	▶ p22
沖縄県	エコドライブ普及啓発、継続支援の実施	▶ p23

COOL CHOICE 普及拡大 COOL CHOICE を効果的に拡大するための活動

北海道	地域の「COOL CHOICE」な取組みを発信	▶ p9
滋賀県	COOL CHOICE セミナーの実施	▶ p17
大阪府	クリーンエネルギー Cool Choice コーディネート業務	▶ p17
奈良県	子どもから発信する COOL CHOICE	▶ p18
和歌山県	有田川エコフェスタ	▶ p18
島根県	COOL CHOICE セミナーの実施	▶ p19
広島県	「わたしの COOL CHOICE 大募集！」事業	▶ p19
香川県	せと eco・かがわの未来のために今選ぶ COOL CHOICE	▶ p20
高知県	ぼくの・わたしの COOL CHOICE 宣言	▶ p20
長崎県	みんなで、楽しく COOL CHOICE	▶ p21

コンテンツ 普及啓発に係るツールを制作し、効果的な啓発につなげる活動

秋田市	多世代アクション「あきエコどんどんプロジェクト」	▶ p10
山梨県	地球温暖化防止はじめの一歩シート 配布	▶ p14
岐阜県	COOL CHOICE ツールの開発	▶ p16
愛知県	「気候変動テキスト」作成・公開	▶ p16

実態調査 地域の CO₂ の排出実態に関する調査

青森県	企業を対象とした温室効果ガス排出実態調査	▶ p9
青森市	地球を守る 5 年生アンケート	▶ p9
茨城県	スマートムーブアンケート	▶ p11
神奈川県	身近な温暖化対策への取組み「チェックシート」作成	▶ p13
福井県	ミッドナイト節電	▶ p15
大津市	「エコライフデー」	▶ p17
京都府	ホテル・旅館等の給湯設備の省エネに関する実態調査と提案	▶ p17
熊本県	廃食油回収と JIS 規格 BDF の普及活動	▶ p22
宮崎県	東大宮 CO ₂ 削減倶楽部	▶ p23
鹿児島県	「グリーン日記コンテスト」を活用した排出実態調査	▶ p23

省エネ診断 家庭や事業所のエネルギー使用状況を診断し、省エネに関するアドバイスを行う活動

宮城県	家庭の省エネアドバイス「うちエコ診断」	▶ p10
東京都	中小規模事業所向け 省エネルギー診断	▶ p13
兵庫県	うちエコ診断事業	▶ p18
山口県	家庭におけるストップ温暖化診断の実施	▶ p19

担い手育成 地球温暖化防止活動の担い手を育成する活動

秋田県	推進員研修会（実践研修会）	▶ p10
栃木県	推進員協働チーム	▶ p11



3 地域センターの特徴的な活動事例

北海道センター

地域の「COOL CHOICE」な取組みを発信

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ その他

活動の対象 家庭

COOL CHOICE 普及拡大 自治体と連携した情報発信

網走市内で取り組まれる「クールチョイス」事例取材し、HPや網走市と連携し広報「あばしり」で地域住民に発信するお手伝いをしました。情報発信後に行った市民アンケート調査では、「こうした地域の取組み紹介を継続してほしい」、「温暖化対策を考えるきっかけになった」などの感想が上位を占めました。今後も地域や自治体などと連携して温暖化対策の普及促進に努めます。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.heco-spc.or.jp/coolchoice/index.html>



▲リサイクルガラスを活用している「流水硝子館」

青森県センター

企業を対象とした温室効果ガス排出実態調査

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ 吸収源対策 3R 3R SDGs その他

活動の対象 事業所

実態調査 オフィスでの省エネに関する簡単なアンケート

COOL CHOICE の浸透が不十分と思われる県内の中小企業への周知と賛同獲得に合わせ、オフィスでの省エネに関するアンケートを実施しました。回答した事業所のほとんどが、使わないときはOA機器の電源を切り(90.1%)、冷暖房の設定温度を調節し、必要なときだけ使っている(92.6%)ことがわかりました。COOL CHOICE 賛同者数は81社の合計で1,277名となりました。



▲オフィスの省エネアンケート票

青森市センター

地球を守る5年生アンケート

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 吸収源対策 SDGs

活動の対象 学校

実態調査 小学5年生を対象に省エネに関するアンケートを実施

市内の小学校3校の5年生233名を対象に、家庭での省エネに関する取組みについて、9項目の省エネ行動のうち、実践しているものを聞くアンケート調査を実施しました。岩手県センターの調査票を参考に、取組みによって削減できるCO₂をサッカーボールに換算して示すことで、目に見えないCO₂を具体的に理解できるようにしました。平成29年度は学校数を増やし、継続調査を行います。



▲地球を守る5年生アンケート調査票

岩手県センター

廃食油の資源化活動を通じた三陸復興プロジェクト！

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ 吸収源対策 適応策 3R 3R SDGs その他

活動の対象 事業所

講座・セミナー 廃食油の資源化活動が海をきれいにし、地域を潤す

東日本大震災で廃食油の精製施設が被災し再生が不能となりました。復活を目指す市民運動を手助けする活動です。廃食油の回収が再開され、現在は隣接の市で精製していますが沿岸地区での再開が願いです。作られたBDFは農業機械の燃料として使われ、作物が市民に届けられる地域内循環システムが廻り始めました。廃食油をそのまま捨てず、資源として活用することで海をきれいにし、地域を潤すことを目指しています。



▲BDFで動く農業機械を油を集める市民が見学

3 地域センターの特徴的な活動事例

宮城県センター

家庭の省エネアドバイス「うちエコ診断」



家庭のCO₂・光熱費削減を後押し

宮城県におけるCO₂排出量のうち家庭部門は2割を占め、年々増加傾向にあります。家庭からのCO₂削減を目的とした「うちエコ診断」は県や市町村、企業などと連携し診断を実施してきました。また、県内各地で開催される環境フェアなどにも赴き診断を実施しています。さらに、診断結果を元にパンフレットなども作成し宮城県内の家庭からのCO₂排出量やその割合について周知しています。



▲「うちエコ診断」ののぼりが目印です

秋田県センター

推進員研修会(実践研修会)



秋田県版〇〇(まるまる)ボックス

地球温暖化に関する情報をイベントや講座等の場でわかりやすく提供できるよう教材用ツールとして「〇〇(まるまる)ボックス」を取り上げ、推進員等が主体となって図柄を秋田県版とする取組みを進めています。

現在、ボックスの6面中4面で「旬な野菜・果物」や「電化製品」など、手づくり感いっぱいの図柄の作成を終え、全ての面の完成を目指しています。



▲秋田県版〇〇ボックス(秋田県センター)

秋田市センター

多世代アクション「あきエコどんどんプロジェクト」



アプリ活用による市全域での温暖化対策推進

温暖化防止推進・ごみ分別情報アプリを活用したエコアクションポイントシステムを基に、秋田市、推進員、NPO、事業者と連携し、市内の公共施設やスーパー等で規定の“CO₂削減行動”へポイントを市民に付与し、実施アクションによる積算CO₂排出削減量を表示(見える化)。また、専用フォームから「COOL CHOICE 宣言」(地球温暖化対策のための国民運動)への賛同を促し地球温暖化防止を推進しています。



▲ごみ分別情報ページを追加

山形県センター

省エネ住宅の普及啓発活動



オール山形での省エネ住宅推進

省エネ住宅に住むことは、地球温暖化対策に大きな効果があります。また、暖房エネルギーの削減だけでなく、健康面の向上にも繋がっています。私たちは、平成19年度より学識経験者、建築関係団体、行政と連携し協議会を設立して、住宅の省エネ(エコ)対策の普及推進に取り組んでいます。市民向け、事業者向けとして、それぞれに基礎講座やバスツアーの開催、技術講習会の開催などを実施しています。



▲モデルハウス「山形エコハウス」

3 地域センターの特徴的な活動事例

福島県センター

環境教育・環境学習の推進

活動の
テーマ



活動の
対象



学校



環境教育フェスティバルに出展、高校と連携促進

福島県センターも構成員である「ふくしま環境活動支援ネットワーク」が主催し、夏休み期間の8月5日（土）に開催された「環境教育フェスティバル〜ふくしまで育つ・未来の芽〜」に、県内の高校17校と一緒に出展しました。

来場した高校の生徒、教師のみなさんへ、地球温暖化の現状や対策、防止活動の紹介などを通して、環境学習・環境教育の大切さをアピールしました。

環境学習・環境教育に積極的に取り組む高校を表彰する制度も作ることにしました。



▲先生と環境教育について意見交換

茨城県センター

スマートムーブアンケート

活動の
テーマ



活動の
対象



家庭



「移動」を「エコ」に。スマートムーブの推進

茨城県では、エコドライブ推進月間である11月に、県内4か所及び環境イベントにおいて、「スマートムーブに関するアンケート」を実施しました。スマートムーブに関する情報提供を行うだけでなく、これから実践したい取り組みについてお答えいただくことで、みなしCO₂削減量の算出も可能です。

このアンケートは、茨城県委託事業の一環として、いばらきエコドライブ推進協議会メンバー及び推進員などの地域の担い手と協働しながら実施しました。



▲「スマートムーブとは」説明の様子

栃木県センター

推進員協働チーム

活動の
テーマ



活動の
対象



担い手



5つのメニューで「ストップ温暖化とちぎ」

5つの協働チームは、①エコな写真チーム②ソーラーチーム③〇〇ボックスチーム④啓発資材チーム⑤省エネチェックチームです。それぞれのチームは、「ストップ温暖化とちぎ企画展」と「ECO テック & ライフとちぎ」での啓発を行うため、チームごとに打合せを何度も行い、企画から準備、運営を行い、全チームが、イベントでブースでの啓発と活動内容のプレゼンテーションを行いました。



▲「ECO テック & ライフとちぎ」啓発の様子

群馬県センター

クールチョイスぐんまフォーラム ～賢く選ぶ交通談義～

活動の
テーマ



活動の
対象



家庭



ぐんまのスマートムーブ宣言2016

「交通弱者になる日」寸劇や話題提供を受けて、公共交通、自転車、自動車、健康、まちの活性化の視点でグループワークを行い「スマートムーブ宣言」としてまとめました。

- ・自転車の知識・ルールやマナーを学ぶ場を作ろう！増やそう！
- ・まちなかや身近なところへ、乗って残そう公共交通！
- ・運動習慣、ウォーキング、ランニング、自転車で移動！
- ・エコドライブで燃費を育て、乗り換えはエコカーに！



▲みんなでスマートムーブ宣言を作りました

3 地域センターの特徴的な活動事例

埼玉県センター

低炭素まちづくりフォーラムin埼玉



県内各地域で低炭素に向けてとことん話し合います！

推進員を中心メンバーとした実行委員会形式で、年に1回温暖化防止月間に、県内各所において本会を開催しています。今年度は獨協大学との共催により、同大学が会場となりました。来賓として中川雅治環境大臣にもお越しいただき、約500人が参加してくれました。行政・市民・企業・学生等が一堂に会し、様々なテーマから低炭素社会作りを議論することで、情報交換や交流の場も生まれ、環境活動の地域力が生み出されています。



▲地域で低炭素社会作りに向けてとことん討論

熊谷市センター

熊谷市みどりのカーテン補助金及び写真コンテスト



暑い熊谷、みどりのカーテンを育てよう！

日本一暑い夏の実績を残した熊谷市では、みどりのカーテンの普及に力を入れています。ゴーヤ苗の無償配布やみどりのカーテン実施のための補助金制度、写真コンテストなども行っているほか、温度測定を実施して効果の検証も行っています。当センターでは、これらの業務を受託して協力しています。一般家庭をはじめとして、学校や公民館、企業なども参加されています。



▲写真コンテスト入選作品

川口市センター

ecoキャラバンおじゃま虫



商店街等からLED・エコ住宅・再エネを発信

商店街やイベントなど市民が集まる場所で、推進員や事業者と連携し、温暖化の現状と対策を発信。身近で具体的な情報提供に努め、LEDシーリングライト交換体験、エコ窓体験、発電体験、直管式や小型LEDなど最新グッズの展示、建築士を始めとする専門家による相談コーナー、COOL CHOICE賛同呼びかけなどを行いました。市センターとして、地域に根ざした温暖化防止活動推進を行っています。



▲商店街で買い物をする人々に発信

千葉県センター

エコメッセへの出展



民間団体と協働し温暖化防止活動の啓発

持続可能な社会の実現をメインテーマに毎年秋に開催される、県内最大級の環境活動見本市であるエコメッセに出展しました。温暖化防止を目的にしている民間団体と協働し、各団体の活動内容の紹介等を行いながら、各団体が地元のイベント等で啓発活動を行うためのノウハウを得ることもできました。また、多くの来場者に「家庭の省エネ簡易診断」やアンケートを実施することで節エネや温暖化防止を啓発しています。



▲各団体の啓発活動の様子

3 地域センターの特徴的な活動事例

東京都センター

中小規模事業所向け 省エネルギー診断



約80%の事業者が、効果を実感！

省エネに関する経験豊富な診断員が都内の事業所に直接訪問して、設備やエネルギー使用状況を確認しています。改善提案をする際は、事業所の特性に応じた最適な省エネ対策を提案しています。特に、投資をせずに実施できる省エネ対策（運用改善）を多く提案するようにしています。診断後も、丁寧な提案内容の説明や既存設備を活かした運用改善への取組みを支援しています。



▲これまで約3,300件の実績！

八王子市センター

「家庭の省エネ」なんでも相談



家庭での省エネ行動を見直すきっかけづくり

各種イベントにおいて、推進員のブースを設けて、家庭の省エネ行動について聞き取り調査や相談を行った後、オリジナルハンドブックに基づいて無理なくできる省エネ行動のアドバイスを行っています。『懇切丁寧に』を心掛け、常時5名以上で担当し、100人以上の来場者に対応しています。

なお、このハンドブックは、家庭の省エネエキスパートを取得した推進員の皆さんとの協働により作成しました。



▲八王子環境フェスティバルの様子

神奈川県センター

身近な温暖化対策への取組み「チェックシート」作成



チェックシートで行動変容を喚起！

家庭で取り組める身近な温暖化対策として、「節電」と「エコドライブ」に関する行動について取組み状況を確認するチェックシートを作成しました。このチェックシートはアンケートにもなっており、環境フェアや講座などのイベント時に配布し、行動変容を促すとともに、アンケートを回収することで、普及啓発の効果として見込みCO₂排出削減量の集計も可能になっています。



▲「エコドライブ・節電」普及シート

川崎市センター

環境啓発施設CCかわさき交流コーナーの運営



子どもからお年寄りまで楽しめる体験型展示

低炭素・資源循環・生物多様性のテーマ展示と講座・見学を毎月、実施しています。また、市民団体、事業者、行政と連携しながら、市民への情報発信、相談窓口の設置、普及啓発活動を行い、地球温暖化対策を推進しています。特に、春休み、夏休みには、小学生向けの環境工作・体験教室、自由研究教室を実施し、たくさんの親子の参加を得ています。



▲自転車発電をじっくり見学

3 地域センターの特徴的な活動事例

山梨県センター

地球温暖化防止はじめての一步シート 配布



かわいいイラストが、ポジティブなイメージ

「温暖化防止＝せこせこしんどそう」というイメージを、「少ないエネルギーで心豊かな暮らしを作るポジティブな行動」と感じてもらえるようなツール。

衣食住、いろんなところに自分ができるはじめての一步を紹介。

山梨県地球温暖化対策実行計画にも掲載されています！

学校で、イベントで、学んだ後に持ち帰ることで、帰った後もいろんな人と話すきっかけにも！



▲温暖化防止はじめての一步シート

静岡県センター

アースキッズチャレンジ事業



子どもが家庭のエコリーダーとして活躍

2004 年より県市町・学校と連携し、県内の小学 4-6 年生に対して、オリジナル環境教育プログラム「アース・キッズチャレンジ」を提供しています。子どもたちは、講座や体験学習、エコ生活の実践を通して、気づき、考え、主体的に行動する力を身につけ、家庭や学校、地域のエコリーダーとして成長していきます。これまでに約 6 万人の児童が参加。地元企業や地球温暖化防止活動推進員の協力を得て更に拡大しています。



▲エコリーダー認定証を授与された子どもたち

浜松市センター

事業所のエコドライブ推進事業



エコドライブ実施事業所を認定！

浜松市からの委託により、一定期間エコドライブを継続した事業所を認定する事業を実施しました。web 上で記録するシステムを構築したことで、多くの事業所が実施を継続できました。

エントリー後には、各社 1 名の代表者が実地講習会に参加、燃費をモニターするシステムを利用することで、エコドライブの効果を身をもって体験していただきました。

エコドライブ普及のきっかけになったと考えています。



▲認定証授与式

新潟県センター

つばめエコキッズ探検隊プロジェクト「地球温暖化防止作戦」



楽しくエコと温暖化防止を学び実践へ！

当センターでは県内市町村と協力して様々な環境イベントを行っています。燕市では小学生 4～6 年生を対象として楽しくエコについて学び、いろいろな体験ができる「つばめエコキッズ探検隊プロジェクト」が開催されました。子どもたちは「エコキッズ探検隊」として、当センターや推進員の指導により地球温暖化について学び、マイ箸作りなど省エネ行動に繋がる体験をしました。



▲間伐材を使ったマイはし作り

3 地域センターの特徴的な活動事例

富山県センター

とやま環境チャレンジ10事業



事業開始から14年目の富山県の独自事業

県内各小学校の10歳の児童(小学校4年生)が、地元で活動している地球温暖化防止活動推進員が行う授業で地球温暖化問題を学び、各家庭における節電等の10の取組みを決めて、家族とともに一定期間対策を実践し自己評価するという一連の行動を通じて、取組みを継続することで家庭における地球温暖化対策の推進を図ることを目的として、毎年実施しております。



▲地球温暖化防止活動推進員による授業

石川県センター

いしかわ環境フェア



来場者2万人超の県内最大の環境イベント

地球温暖化防止活動推進のため、CO₂削減の取組み紹介ゾーンを設けるほか、センターとしてブース出展、COOL CHOICEの賛同募集や入場者アンケートを実施しています。

今回は、好評のミニ北陸新幹線等の人力発電装置で電気の有難みや電化製品との電力量の比較体験のほか、新たにCOOL CHOICEの普及啓発コーナーを設置し、2日間で2,000人を超える賛同を得ることができました。



▲家族連れで賑わうセンターブース

福井県センター

ミッドナイト節電



機器の使い方によって深夜電力を無駄なくお得に

一般家庭のCO₂排出量調査から、「オール電化家庭のCO₂排出量が多いこと」「深夜電力を使う機器の設定によって節電が可能になること」が分かった為、エコキュートや蓄熱暖房などの機器の設定を見直し個々に合った使い方を工夫して、電気料金を削減・省エネする取組みを行いました。アンケートでの状況調査の後、節電チャレンジャーを募集し、平均で月100kgのCO₂削減が達成できました。



▲節電チャレンジャー募集ちらし

長野県センター

県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク



地球にやさしい通勤で体も動かすきっかけづくり

自動車から排出される温室効果ガスの削減対策として、普段マイカー通勤している方に、実施期間中、1日以上、マイカー通勤を自粛し、バスや電車などの公共交通機関の利用、徒歩、自転車、相乗り等により「ノーマイカー通勤」を実施いただきます。「環境にやさしい通勤手段への転換」だけでなく、健康長寿世界一を目指す長野県では、「日々の生活の中で体を動かす」きっかけづくりにも、と呼びかけています。



▲チラシで広く参加者を募集しました!

3 地域センターの特徴的な活動事例

長野市センター

エコドライブ講座とシミュレーター体験



環境イベント | 体験後のアンケート調査で効果を分析

多くのイベント会場で、座学とエコドライブシミュレーターを組み合わせた講習を実施した結果、市内 10 会場で 580 名の方が参加され、うち 219 名の方にシミュレーターを体験していただきました。この講習による効果を明らかにするためシミュレーター体験者にアンケート調査を実施し、ふんわりアクセルによる削減効果が約 30t と一番多いことがわかるなど、結果から推計された年間総 CO₂ 削減量は約 48.3t (約 220kg/人) となりました。



▲信州環境フェアでの体験の様子

岐阜県センター

COOL CHOICEツールの開発



コンテッ | ゲームで楽しくCOOL CHOICEを知ろう！

COOL CHOICE の具体的な取組みをモチーフに、絵合わせパズルを作成し、環境イベントの出展で活用しています。パズルは 6 面あり、それぞれに描かれた COOL CHOICE に関するイラストを合わせて遊べるツールです。パズルを通して COOL CHOICE を知り、日常における賢い選択を学びます。複雑な動きで親子で楽しめるため、COOL CHOICE の認知度を高めるとともに、賛同拡大にもつながります。



▲環境イベントでの様子

愛知県センター

「気候変動テキスト」作成・公開



コンテッ | IPCCデータや県内の関連トピックを一冊に

気候変動問題の解説資料として、専門家の監修のもと「気候変動テキスト」を作成しました。「気候変動や温暖化についての概説」「IPCC5 関連データ」「愛知県のデータ・県内関連トピック」の 3 種類の情報を一つのファイルにとりまとめたもので、ウェブサイトで公開しています。パワーポイント、PDF を DL できるようになっており、推進員や自治体関係者など、皆さんに様々に活用いただいております。(http://www.kankyosoken.or.jp)



▲気候変動テキスト

三重県センター

みえ環境フェアの開催



環境イベント | テーマはCOOL CHOICE

みえ環境フェアは、COOL CHOICE をテーマに地球温暖化の防止に努める団体や企業などがあつまり、来場者に対して地球温暖化の現状について啓発を行い地球温暖化防止に係る行動変容を促すイベントです。

みえ環境フェアでは、食品ロス削減の取組みの一環として規格外品等の廉価販売を行う「もったいない市」や LED などの省エネ家電の普及のため行う「家庭の省エネフェア」を開催します。



▲みえ環境フェア

3 地域センターの特徴的な活動事例

滋賀県センター

COOL CHOICEセミナーの実施



COOL CHOICE 普及拡大 暮らしの中からCOOL CHOICE！

COOL CHOICE の意義をしっかりと伝え、実際の暮らしの中で行える具体的「COOL CHOICE 事例」を示すことによって、自分ができる COOL CHOICE を見つけ出し、行動変容につなげることを推進しています。地域の方、大学生、企業等、様々な対象に対して、誰もが取り組めるように情報をお伝えし、実践行動に結びつけるための宣言書として、受講者からの賛同登録をいただきました。



▲ COOL CHOICE セミナーの様子

大津市センター

大津市「エコライフデー」



実態調査 家庭の省エネ推進で、地域の温暖化防止に寄与

家庭で取り組める省エネ行動25項目を記載したチェックシートを配布し、エコライフデー（H29は7月21日）にどのくらい省エネに配慮した暮らしができたのかを調査しました。このシートでは、「ふだん」と「エコライフデー」の違いを比べることによって、エコライフデーに取り組んだ成果を算定することができます。自治会等の地域のネットワークを活用することで、多くの方に参加いただくことができました。



▲回収集計した結果報告書

京都府センター

ホテル・旅館等の給湯設備の省エネに関する実態調査と提案



実態調査 お湯をたくさん使う事業者に、給湯調査&啓発

観光が盛んな京都では、近年、ホテル等が増えています。また京都は銭湯等が多い土地です。そこで、宿泊施設の組合・公衆浴場の組合を通じて、大浴場等を所有する府内569事業者を対象に給湯調査を実施。同時に、ボイラーの空気比最適化や節水シャワーヘッドの設置等、低コストで効果の高い給湯の省エネ情報を提供しました。さらにアンケート結果を569事業者へ送り、フィードバック効果を狙いました。



▲事業者向け給湯省エネ資料を配布

大阪府センター

クリーンエネルギーCool Choiceコーディネート業務



COOL CHOICE 普及拡大 親子や幼児向けの工作教室や環境講座を実施

泉大津市の地球温暖化対策地域推進計画の重点項目である「クリーンエネルギーの推進」及び『COOL CHOICE』を啓発することを目的に、各種イベントを実施しました。親子で参加できるソーラーカー工作教室や、市立幼稚園、保育所、認定こども園において、みどりのカーテンを活用したエネルギー学習会や発電実験等の環境講座を実施し、509名の方にクリーンエネルギーについて知っていただきました。



▲環境講座の様子

3 地域センターの特徴的な活動事例

兵庫県センター

うちエコ診断事業



家庭の省エネ・CO₂削減対策の提案

兵庫県では全国に先駆けて「うちエコ診断」事業を開始し、各家庭のライフスタイルに応じた省エネの提案を進めています。事業の促進にあたっては、学識者や県内の自治体、業界団体等の参加を得て、兵庫県家庭エコ診断協議会を組織し、情報交換や効果的な推進方策等について幅広く協議しながら進めており、太陽光発電システム設置等、県や市が交付する補助金の交付要件として、うちエコ診断の受診を義務付けるなど、受診者の拡大を図っています。



▲ご家族でのうちエコ診断受診の様子

奈良県センター

子どもから発信するCOOL CHOICE



ECOキッズのエコなアイデア&エピソード満載

奈良市内全小学校で実施の環境教育を受けた子どもたちが、大人や社会に向け、エコな取り組みや楽しいアイデアを発信することが、より未来への責任のある主体的な実践につながると思い、「エコアイデア&おもしろエピソードコンテスト〜おしえてECOキッズ!」の実施と表彰、エコイベント「あつまれ! ECOキッズ」の開催とおしごと体験(環境NPOのスタッフ体験)などを行いました。



▲最優秀賞(ハンドブックより)

和歌山県センター

有田川エコフェスタ



エコ推進地域からエネルギー選択を考える

和歌山県有田川町発の小水力発電を機に、住民主体でのエネルギー自立の可能性を考えるトークセッションを行いました。第1部は、話題提供として先駆的に取り組んでいる岐阜県石徹白(いとしろ)地区の事例を聞きました。第2部は、感想や意見をアンケート形式で回収し、パネルディスカッション形式で意見を共有しました。参加した100名からさまざまな意見が集まり、密度の濃い会となりました。



▲パネルディスカッションの様子

鳥取県センター

ちびっ子エコスタート事業



大学生のエコ劇場&家庭を巻き込んだ「エコ育」推進

子どもの教科書は大人の背中!を合言葉に、自然豊かな鳥取県ならではのエコライフ普及のため、保育者や保護者向けに「目からうろこ」のエコ育研修会を開催する県主催事業です。園にとっては保育目標の強化につながり、保護者家庭の省エネ実践も期待できるマルチベネフィットな取り組み。大学生によるエコ劇場もあり、エコ博士やエコ戦隊「スナバーズ」による「クイズ!エコ活&ダメ活」で、子どもたちのエコのテンションもUPしています。



▲エコ戦隊スナバーズと一緒にエコスタート!

3 地域センターの特徴的な活動事例

島根県センター

COOL CHOICEセミナーの実施

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ 吸収源対策 3R 3R その他

活動の対象 家庭



ターゲットやテーマを絞ってちょっと尖ったセミナーを！

「COOL CHOICE セミナー」と銘打って、ターゲットやテーマを絞ったちょっと尖ったセミナーとすることで、小規模でも人に伝わる場を提供することを目的としました。ターゲットは若年層に絞り、「ひとり暮らしのエコ節約術」や「インテリアや手軽にできる住宅の省エネ」など、大学生や20～30代がCOOL CHOICEについて興味関心を持ち、毎日の暮らしの中で実践してもらえる内容としました。



▲おしゃれな省エネテクニックでマダムもにっこり。

岡山県センター

協働による環境学習推進事業

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ 3R 3R SDGs

活動の対象 学校



環境について学べる参加体験型の出前講座を実施

持続可能な社会に向けて、一人ひとりが環境に関心をもち、環境の保全に対する意識を高め、自ら考え行動できる人の育成を目指し、岡山県をはじめ NPO 等環境団体との協働により、「環境学習出前講座」を実施しています。温暖化やごみ、エネルギーに関することなど、いろいろなテーマで、楽しみながら環境について学べる参加体験型の学習プログラムとなっています。



▲小学校での環境学習出前講座の様子

広島県センター

「わたしのCOOL CHOICE 大募集！」事業

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ 適応策

活動の対象 家庭



あなたの“COOL CHOICE”教えてください！

“COOL CHOICE”の普及を通じて、家庭での温暖化対策をより推進するため、広島県にお住まいの皆様から、温暖化防止のために日頃実践している取組みを募集。

集まった取組みは、選考委員による1次選考（採点）と、推進員等を対象とした交流会での2次選考（投票）を行い、金賞1件・銀賞2件・銅賞3件を決定。表彰するとともに、情報紙やHP・Facebook等を通じて紹介しています。



▲選考結果の報告および表彰の様子

山口県センター

家庭におけるストップ温暖化診断の実施

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題

活動の対象 家庭



推進員による家庭の省エネ診断

「家庭におけるストップ温暖化診断」は、山口県独自の家庭の省エネ診断ツールとして、イベントや自治会で年間500世帯以上の県民が取り組んでいます。

診断員としての研修を受けた推進員が、診断結果に基づき各ご家庭にあった省エネアドバイスをを行います。

また、診断後に導入した省エネ機器や開始した省エネ行動について調査し、具体的な効果を「見える化」することで普及啓発に生かします。



▲温暖化診断をイベントで実施

3 地域センターの特徴的な活動事例

徳島県センター

こども環境講座



未来を担う子どもたちへの温暖化防止の啓発

小中学生を対象に、地球温暖化や3R、食品ロス等のテーマで講座や体験ツアーを実施しています。推進員や大学生（学生推進員）による自然エネルギーの実験や工作、環境紙芝居やクイズ、藍染・料理体験、さらにダムや太陽光発電、水素自動車の見学など、楽しく環境を学べることから、子どもたちに大人気です。本事業を通じ、環境問題を知ってもらい、保護者と一緒に家庭でできる温暖化対策を促進しています。



▲学生推進員と一緒に楽しい工作

香川県センター

「せとeco・かがわの未来のために今選ぶCOOL CHOICE」



メディアを活用し、COOL CHOICEをアピール！

COOL CHOICE の普及拡大を目的としてセンター職員や地球温暖化防止活動推進員などがラジオ放送を通じて COOL CHOICE をわかりやすく紹介し、リスナーに「誰にでもできる地球温暖化対策」を伝えます。

また、「学校 CO2CO2 削減コンテスト」に参加している各学校の生徒たちが、学校で実践している COOL CHOICE の取り組みについても紹介しています。（全 13 回放送）



▲小学校で COOL CHOICE を紹介します

愛媛県センター

愛媛の3R企業展/えひめecoフェスタ2016



環境イベントにおける普及啓発活動

毎年、10月に開催されるこのイベントは、循環型社会の構築に向け、3Rに積極的に取り組んでいる企業を紹介するブースと、二酸化炭素など温室効果ガスの排出を減らす地球温暖化防止対策のブースを同じ会場で開催することで、広範に環境問題を考えていただくものです。当センターは、地球温暖化の現状や対策の重要性をリサイクルについて関心のある方にも啓発活動を行っています。



▲オリジナルマグネット作りの様子

高知県センター

ぼくの・わたしのCOOL CHOICE宣言



「COOL CHOICE」を子どもたちから地域へ

子ども達からのメッセージは、地域の方々の関心も高いことから、小学3年生を対象に、温暖化に関する座学を行った後、これから取り組む環境配慮の行動について絵や文字を使って自由に書く「ぼくの・わたしの COOL CHOICE 宣言書」ポスターを作成していただきました。ポスターは子ども達の学びを地域に広げる為に、高知市内のスーパーマーケット2店舗及び市場内に掲示して「COOL CHOICE」や温暖化について広く啓発を行いました。



▲出前授業の様子と作成したポスター

3 地域センターの特徴的な活動事例

福岡県センター

将来を支える次世代人材の育成



幼い園児たちがエコ活動を学び、実践する

園児や児童を対象とした出前講座に講師を派遣し、地球が温暖化していることや電気や水の大切さを紙芝居や教材を使って易しく説明し、節電や節水など自分たちが今できることを学び、子ども環境家計簿等を使って家でエコ活動を実践してもらっています。また、子どもの保護者も一緒にエコ活動に取り組むことでエコ意識が高まり、家族全員で温暖化防止のために行動する「エコファミリー」を増やしています。



▲エコトンと一緒に〇×クイズ！

佐賀県センター

環境教室の実施



太陽光から電気を作る！環境・エネルギー教室

吉野ヶ里遺跡に位置する「吉野ヶ里メガソーラー発電所」に近隣の小学生を招き、ソーラーモーターカーを作って走らせる体験学習会を行っています。日射量が多いこの地域は、古代から現代にいたるまで太陽の恵みに支えられてきたこと、また時代の移り変わりによる暮らし方や環境の変化に伴い太陽エネルギーの活用法も進化していることを体感し、エネルギーを大切にしようという心を育てています。（地域貢献に取り組む佐嘉吉野ヶ里ソーラー合同会社からの受託事業です。）



▲環境・エネルギー教室実施風景

長崎県センター

みんなで、楽しくCOOL CHOICE



推進員は地域の力！人脈ネットワークに感謝です

長崎県内の推進員が集う推進員全体研修会の中でCOOL CHOICE 賛同の目標を定め、推進員が中心となり学習会やイベントで、その説明と賛同の呼びかけを行いました。特に地元に近いネットワークを持つ推進員は、自らそのネットワークを活かし、地元企業や団体、学校、また公民館や自治会などにも呼びかけを行い、多くの賛同を得ることができました。



▲COOL CHOICE チラシをガン見する子ども達

長崎市センター

ながさきエコライフの浸透と拡大



つながる、ひろがるエコライフの輪！

当センターでは「サステナプラザながさき」として、市民が楽しみながら環境活動を行える拠点としての場作りを行っています。定期開催の「エコカフェ」では市民にわかりやすい内容でのコンテンツを提供し、1000人規模が参加するウォークラリー開催時にはエイドステーションとして市センターを開放し、来所した市民のみなさまに緑のカーテンコンテストやフードマイレージに関心をもっていただくことができました。



▲エコカフェ「ヤギと羊のエコ話」

3 地域センターの特徴的な活動事例

佐世保市センター

かえっこバザールの定期開催

活動のテーマ 省エネ 3R 3R その他

活動の対象 家庭

環境イベント | 遊びながらリユース体験

家にある遊ばなくなったおもちゃを会場で『かえるポイント』に交換して、自分が持っている『かえるポイント』を使って会場にあるおもちゃと交換ができるワークショップ、かえっこバザールを定期開催しています。この講座では子どもたちは遊びながらリユースについて学ぶことができます。現在は市民団体「させばおもちゃ病院」も会場に併設され、おもちゃのリユースと共に修理を行う環境も整っています。



▲かえっこバザール受付の様子

熊本県センター

廃食油回収とJIS規格BDFの普及活動

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ 適応策 3R 3R

活動の対象 家庭

実態調査 | 県民総ぐるみ運動による廃食油の回収活動

BDF 利用による CO₂ 排出実態調査結果から、BDF 利用における支障を排除するべく検討し、BDF の利用普及活動を展開しています。

県民総ぐるみ運動の BDF ワーキンググループにおいて、主に家庭から排出される廃食油回収キャンペーンを平成 30 年 1 月、2 月に県内の市町村で実施しました。

また、南関町の事業においても、同町で廃食油回収活動を展開しています。



▲熊本県の廃食油回収キャンペーンポスター

熊本市センター

幼児向け環境教育

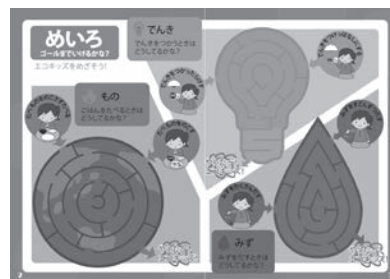
活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 再エネ

活動の対象 学校

講座・セミナー | 保育園児や幼稚園児に対する環境教育

保育園や幼稚園において、園児を対象に幼児版エコノートを用いて、「もの・でんき・みず」から環境について考える機会を提供します。

エコノートには「めいろ」や「イラスト」を用いることで、園児たちにも分かりやすく楽しみながら学べるように工夫しています。また、子どもたちが普段の生活の問題点を意識してもらうことで、家庭での実践につながることを期待するものです。



▲幼児版エコノート

大分県センター

事業所を対象 エコドライブ乗車体験セミナー

活動のテーマ 省エネ 温暖化問題 適応策

活動の対象 事業所

講座・セミナー | 乗車の記録・可視化する装置で講習ビフォーアフターを体験

大分、国東、竹田の県内 3 ヶ所で、事業所を対象に、走行実習を伴うエコドライブセミナーを開催しました。普段使用している社用車に運転状況を記録・可視化する装置を設置し、運転走行を行い、エコドライブ講習の前後を比較することで、エコドライブの効果判定を行うものです。エコドライブの必要性、運転術を学び、燃費の改善、CO₂ 排出削減、交通安全に繋がる効果を普及啓発することができました。



▲運転状況を可視化する装置を設置し走行体験

3 地域センターの特徴的な活動事例

宮崎県センター

東大宮CO₂削減倶楽部

活動の
テーマ



省エネ

3R 3R

活動の
対象



家庭



実態
調査

東大宮から地球温暖化防止！環境価値を見える化

倶楽部会員（自宅）の太陽光発電システムにより発電した電気の内、自家消費電力を地域内で取りまとめ、CO₂に換算し、第三者機関の認証を受けて証書化、企業等に販売しています。またその売り上げで、地域スーパーの割引券等を倶楽部会員へ還元し地球環境に対する意識向上、地域経済の循環などに寄与しています。更に自宅の発電量をチェックすることで機器の不具合等に気付きやすくなります。そういった利点も含めて入会募集用のパンフレットを作成し、新規会員募集に努めています。



▲入会募集パンフレット

鹿児島県センター

「グリーン日記コンテスト」を活用した排出実態調査

活動の
テーマ



省エネ



温暖化
問題



吸収源
対策

3R 3R

活動の
対象



学校



実態
調査

子どもたちによる環境家計簿の取り組み

鹿児島県では家庭部門の温室効果ガス削減のため、県内の小・中学生を対象として、8月の一か月間、省エネ・省資源に毎日取り組んでいただき、どれだけ二酸化炭素を減らすことができたかを記録する「グリーン日記コンテスト」を実施しました。毎日の取り組みを記録するグリーン日記に簡易な環境家計簿の記録ページを設けることで、参加ご家庭からの温室効果ガスの排出実態を調査しました。



▲グリーン日記（平成28年度版）

沖縄県センター

エコドライブ普及啓発、継続支援の実施

活動の
テーマ



省エネ



温暖化
問題



再エネ

3R 3R

活動の
対象



事業所



講座・
セミナー

実車教習と運転の見える化による継続支援

エコドライブを実践するためには、車の運転の「習慣」を変える必要があります。そのため、実車によるエコドライブの教習を行うとともに、教習を受講した方のエコドライブの継続支援を行いました。継続支援では車の走行状態を記録する機器を受講者の車に設置、運転を「見える化」することで、本人の自覚を促すとともに、適宜、アドバイスをを行い、受講者がエコドライブを「習慣」へと変える支援を行いました。



▲エコドライブ実車教習の実施風景

COLUMN

！ 地域での普及啓発活動を支援します！

温暖化防止に係る啓発ツールの制作及び支援、提供

全国センターでは、地域での温暖化防止に係る普及啓発活動支援の一環として、「持てるかな？～エネルギーのかばん～」や「〇〇ボックス」など、目的に合わせた各種普及啓発ツールの制作及び全国に向けての貸出を行っているほか、地域センターのツール制作の支援を行っています。啓発ツールは環境イベントや出前講座などで広く活用されており、平成28年度の貸出実績は延べ300件以上に上りました。

ツール詳細は全国センターウェブサイトをご覧ください。 <http://www.jccca.org/tool/>



〇〇ボックス



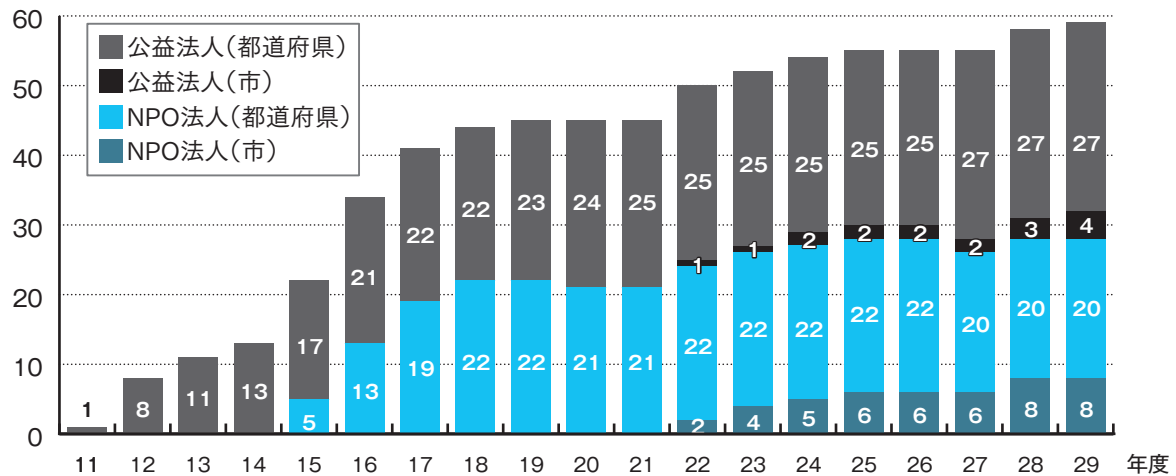
持てるかな？
～エネルギーのかばん～

▲提供できる普及啓発ツールは50以上！

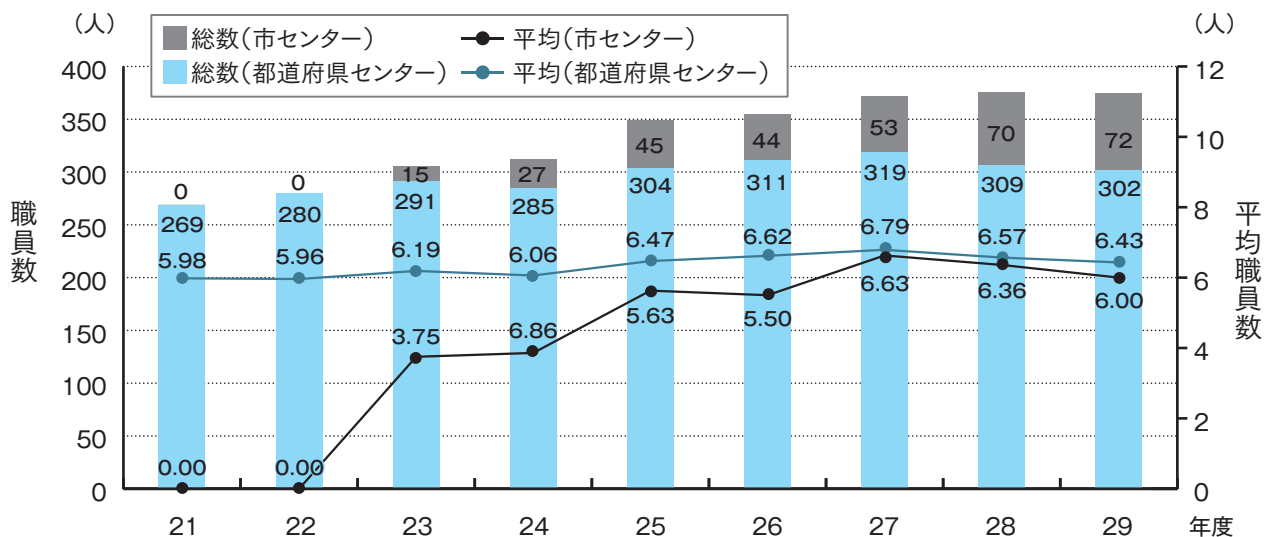
4 地域センター情報

(1) 地域センター 指定数の推移(平成29年7月現在)

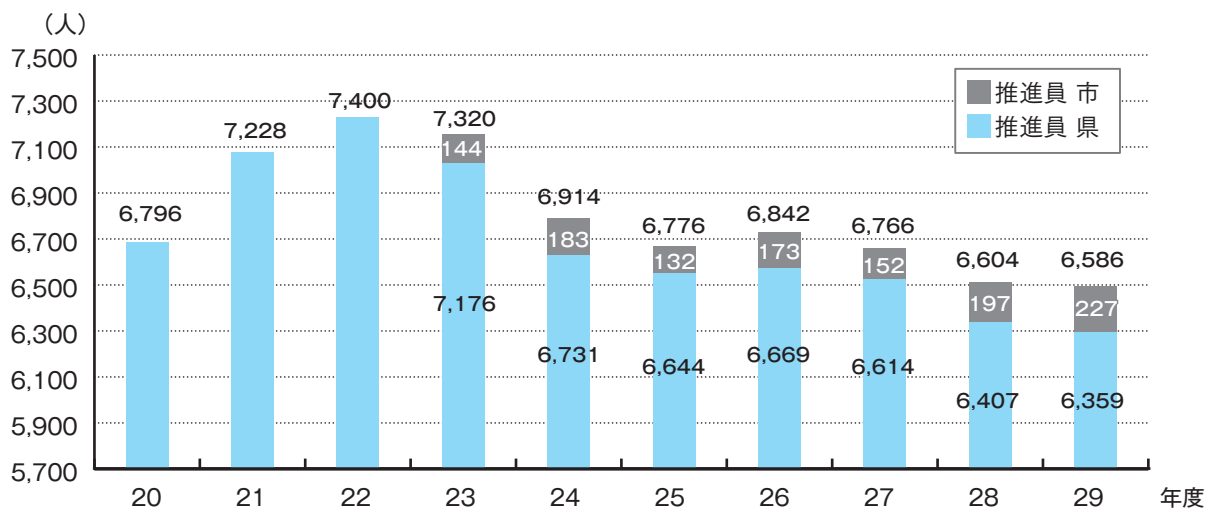
(センター数)



(2) 地域センター 従事者数の推移(平成29年7月現在)



(3) 推進員委嘱数の推移(平成29年7月現在)

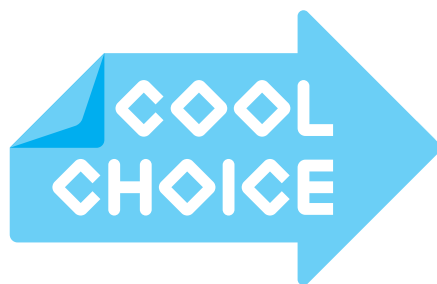


4 地域センター情報

(4) 地域センター 所在地一覧

平成 29 年 12 月現在

センター	指定団体名	郵便番号	所在地	電話番号
北海道	公益財団法人 北海道環境財団	060-0004	北海道札幌市中央区北 4 条西 4-1 伊藤・加藤ビル 4F	011-218-7811
青森県	特定非営利活動法人 青森県環境パートナーシップセンター	030-0801	青森県青森市新町 1-13-7 和田ビル 3 階	017-721-2480
青森市	特定非営利活動法人 青森県環境パートナーシップセンター	030-0801	青森県青森市新町 1-13-7 和田ビル 3 階	017-721-2480
岩手県	特定非営利活動法人 環境パートナーシップいわて	020-0045	岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 いわて県民情報交流センター（アイーナ）5F	019-606-1752
宮城県	公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	981-0933	宮城県仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F	022-301-9145
秋田県	特定非営利活動法人 環境あきた県民フォーラム	010-1403	秋田県秋田市上北手荒巻字堺切 24-2 遊学舎内	018-839-8309
秋田市	一般社団法人 あきた地球環境会議	010-0916	秋田県秋田市泉北 1 丁目 12-31	018-874-8548
山形県	特定非営利活動法人 環境ネットやまがた	990-2421	山形県山形市上楳田 3-2-37	023-679-3340
福島県	特定非営利活動法人 うつくしま NPO ネットワーク	963-8835	福島県郡山市小原田 2-19-19	024-953-6092
茨城県	一般社団法人 茨城県環境管理協会	310-0836	茨城県水戸市元吉田町 1736-20	029-248-7431
栃木県	一般財団法人 栃木県環境技術協会	329-1198	栃木県宇都宮市下岡本町 2145-13	028-673-9101
群馬県	特定非営利活動法人 地球温暖化防止ぐんま県民会議	371-0016	群馬県前橋市城東町 2-3-8	027-237-1103
埼玉県	認定特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉	330-0074	埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎 3 階	048-749-1217
熊谷市	特定非営利活動法人 熊谷の環境を考える連絡協議会	360-0114	埼玉県熊谷市江南中央 1-1 熊谷市江南庁舎	048-536-0557
川口市	認定特定非営利活動法人 川口市民環境会議	332-0001	埼玉県川口市朝日 4-21-33 朝日環境センター・リサイクルプラザ 4 階	048-222-9050
千葉県	一般財団法人 千葉県環境財団	260-0024	千葉県千葉市中央区中央港 1-11-1	043-246-2180
東京都	公益財団法人 東京都環境公社	163-0810	東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 10 階	03-5990-5061
八王子市	特定非営利活動法人 環境活動センター八王子	192-0906	東京都八王子市北野町 596-3 あったかホール 2 階	042-656-3103
神奈川県	特定非営利活動法人 かながわアジェンダ推進センター	221-0835	神奈川県横浜市中区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民センター 9F	045-321-7453
川崎市	認定特定非営利活動法人 アクト川崎	213-0001	神奈川県川崎市高津区溝口 1-4-1 ノクティ 2 高津市民館内	044-813-1313
新潟県	公益財団法人 新潟県環境保全事業団	950-2144	新潟県新潟市西区曾和 1182	025-264-2144
山梨県	公益財団法人 キープ協会	407-0301	山梨県北杜市高根町清里 3545 やまねミュージアム内	0551-48-8011
静岡県	特定非営利活動法人 アースライフネットワーク	420-0851	静岡県静岡市葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 2 階	054-271-8806
浜松市	特定非営利活動法人 静岡県新エネルギー推進機構	432-8068	静岡県浜松市西区大平台 3-21-18	053-485-2021
富山県	公益財団法人 とやま環境財団	930-0096	富山県富山市舟橋北町 4-19 富山県森林水産会館 2 階	076-431-4607
石川県	公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議	920-8203	石川県金沢市鞍月 2-1 いしかわエコハウス内	076-266-0881
福井県	特定非営利活動法人 エコプランふくい	910-0004	福井県福井市宝永 4 丁目 13-4	0776-30-0092
長野県	一般社団法人 長野県環境保全協会	380-0835	長野県長野市新田町 1513-2 82 プラザ長野	026-237-6625
長野市	一般社団法人 長野県環境保全協会	380-0835	長野県長野市新田町 1513-2 82 プラザ長野	026-237-6681
岐阜県	一般財団法人 岐阜県公衆衛生検査センター	500-8148	岐阜県岐阜市曙町 4-6	058-247-3105
愛知県	一般社団法人 環境創造研究センター	461-0005	愛知県名古屋市中区東桜 2-4-1 第 3 コジマビル 4 階	052-934-7295
三重県	一般財団法人 三重県環境保全事業団	510-0304	三重県津市河芸町上野 3258 番地	059-245-7517
滋賀県	公益財団法人 淡海環境保全財団	525-0066	滋賀県草津市矢橋町字帰帆 2108 淡海環境プラザ（旧 水環境科学館）内	077-569-5301
大津市	特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム	520-0047	滋賀県大津市浜大津四丁目 1 番 1 号	077-526-7545
京都府	特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議	604-8417	京都府京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3	075-803-1128
大阪府	一般財団法人 大阪府みどり公社	541-0054	大阪府大阪市中央区南本町 2-1-8 創建本町ビル 5 階	06-6266-1271
兵庫県	公益財団法人 ひょうご環境創造協会	654-0037	兵庫県神戸市須磨区行平町 3-1-18	078-735-2738
奈良県	特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会	631-0032	奈良県奈良市あやめ池北 3 丁目 12-27	0742-49-6730
和歌山県	特定非営利活動法人 わかやま環境ネットワーク	641-0014	和歌山県和歌山市毛見 996-2	073-499-4734
鳥取県	特定非営利活動法人 ECO フェチャーとっとり	689-1111	鳥取県鳥取市若葉台北 1-1-1 鳥取環境大学内	0857-52-2700
島根県	公益財団法人 しまね自然と環境財団	690-0887	島根県松江市殿町 8-3 タウンプラザしまね 2F	0852-67-3262
岡山県	公益財団法人 岡山県環境保全事業団	700-0907	岡山県岡山市下石井 2-2-10	086-224-7272
広島県	一般財団法人 広島県環境保健協会	730-8631	広島県広島市中区広瀬北町 9-1	082-293-1512
山口県	公益財団法人 山口県予防保健協会	753-0814	山口県山口市吉敷下東 1-5-1	083-933-0018
徳島県	特定非営利活動法人 環境首都とくしま創造センター	770-8008	徳島県徳島市西新浜町 2 丁目 3-102	088-678-6091
香川県	公益財団法人 香川県環境保全公社	760-0050	香川県高松市亀井町 9-5	087-833-2822
愛媛県	公益社団法人 愛媛県浄化槽協会	790-0063	愛媛県松山市辻町 2-31	089-925-2661
高知県	認定特定非営利活動法人 環境の杜こうち	780-0935	高知県高知市旭町 3-115 こうち男女共同参画センター 3F	088-822-5554
福岡県	一般財団法人 九州環境管理協会	813-0004	福岡県福岡市東区松香台 1-10-1	092-674-2360
佐賀県	特定非営利活動法人 温暖化防止ネット	849-0932	佐賀県佐賀市鍋島町大字八戸溝 1307 番地 10	0952-37-9192
長崎県	公益財団法人 ながさき地域政策研究所	850-0035	長崎県長崎市元船町 17-1 長崎県大波止ビル 1 階 公益財団法人ながさき地域政策研究所内	095-820-4868
長崎市	公益財団法人 ながさき地域政策研究所	850-0033	長崎県長崎市万才町 10-16 パーキングビル川上 2F	095-895-5541
佐世保市	一般社団法人長崎環境まちづくり社中	857-0864	長崎県佐世保市戸尾町 5-1	095-801-3627
熊本県	特定非営利活動法人 くまもと温暖化対策センター	860-0031	熊本県熊本市中央区魚屋町 2-5 サンコミビル 3F-B	096-356-4840
熊本市	特定非営利活動法人 くまもと温暖化対策センター	860-0031	熊本県熊本市中央区魚屋町 2-5 サンコミビル 3F-B	096-374-6655
大分県	特定非営利活動法人 大分県地球温暖化対策協会	870-0003	大分県大分市生石 4-1-20 大鉦ビル 5F	097-574-6139
宮崎県	特定非営利活動法人 宮崎文化本舗	880-0014	宮崎県宮崎市鶴島 2-9-6 みやざき NPO ハウス 101 号	0985-60-3911
鹿児島県	一般財団法人 鹿児島県環境技術協会	891-0132	鹿児島県鹿児島市七ツ島 1-1-5	099-284-6013
沖縄県	一般財団法人 沖縄県公衆衛生協会	901-1202	沖縄県南城市大里字大里 2013	098-945-2686



賢い選択

発行：平成 30 年 1 月

問い合わせ先：一般社団法人地球温暖化防止全国ネット（全国地球温暖化防止活動推進センター）
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-12-3 第一アマイビル 4F
TEL 03-6273-7785 / FAX 03-5280-8100
<http://www.jccca.org/>



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。

*本冊子は環境省事業「平成 29 年度全国地球温暖化防止活動推進センター調査・情報収集等委託業務」の一環で作成しました